

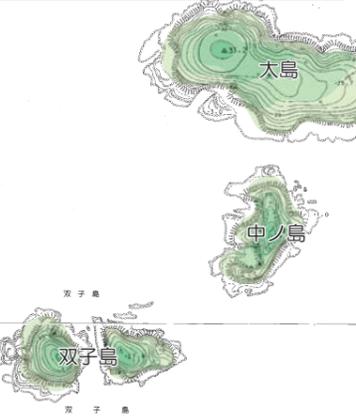
14 カゴバ台場遺跡



江戸時代に外国船を見張るため、紀州藩の砲台跡が築かれた場所で、青石でできた石垣や土塁などが残っています。和歌山城の天守閣も見えます。「シガの鼻自然クラブ」により、定期的に維持管理活動が行われています。

雑賀崎の方言

はえたえないの：こくろうさまの  
(ねぎらいの言葉)  
おっかいよ：あれまあ！  
あんじゃん：お兄さん  
あいあい：わたし



13 雑賀崎灯台



夕日美しいスポットで、特に彼岸の中日に沈む太陽の光は花が降るように見えます。これを「ハナフリ」と呼んで、年に2回「夕日を見る会」が開催されます(2013年春は3月20日(水))。

7 田野 (海側からの眺め)



田野の集落は、コンパクトな湾に立地し、斜面に家が貼りつくように立ち並んでおり、それを緑が取り囲むように見えます。

12 雑賀崎集落内のお店



集落の中には小さなお店がいくつかあり、特産物の「アセ寿司」を販売しています。お店によって異なる、それぞれの自慢の味があります。

11 衣美須神社



集落のメインストリート沿いの、高台にある神社です。漁業と密接に関連しており、旧正月の夜明け前に、漁師の方々が御饌・神酒を手初詣を行います。

雑賀崎の集落



くっつき合うようにして家々が立ち並んでおり、路地が迷路のように伸びています。屋根の複雑な入り組み方が印象的です。雑賀崎の路地は、枝分かれしながら伸びる構造になっているので、袋小路がたくさんあるのが特徴です。

9 鮮魚直接販売



漁に出た日の午後は、戻ってきた漁船から直接魚を買うことができます。獲れたての新鮮な魚が手に入ります。

10 旧正月の風景



旧正月には、漁師たちが一年の豊漁と漁の安全を祈願し、衣美須神社にお参りをします。それぞれの漁船には、大漁旗を掲げ、それが漁港ならではの風物詩となっています。

8 雑賀崎への眺望



湾全体が漁港になっており、雑賀崎の集落も立地しています。斜面に家々が立ち並んでいます。水平な形の屋根が多いのが特徴で、集落と漁港と自然が絶妙なバランスを保って調和する姿はさながら「アマルフィ」(イタリアの世界遺産)のように美しいと言われることもあります。

1 高津子山 (章魚頭婆山)



標高 150.2m の山で、起伏に富んだ和歌の浦一帯の中でも高く、素晴らしい眺望を得ることができます。片男波の松林と海岸線、和歌浦漁港、干潟など、和歌の浦を一望することができます。さらに向こうには名草山も見えます。

2 山田猪三郎の碑

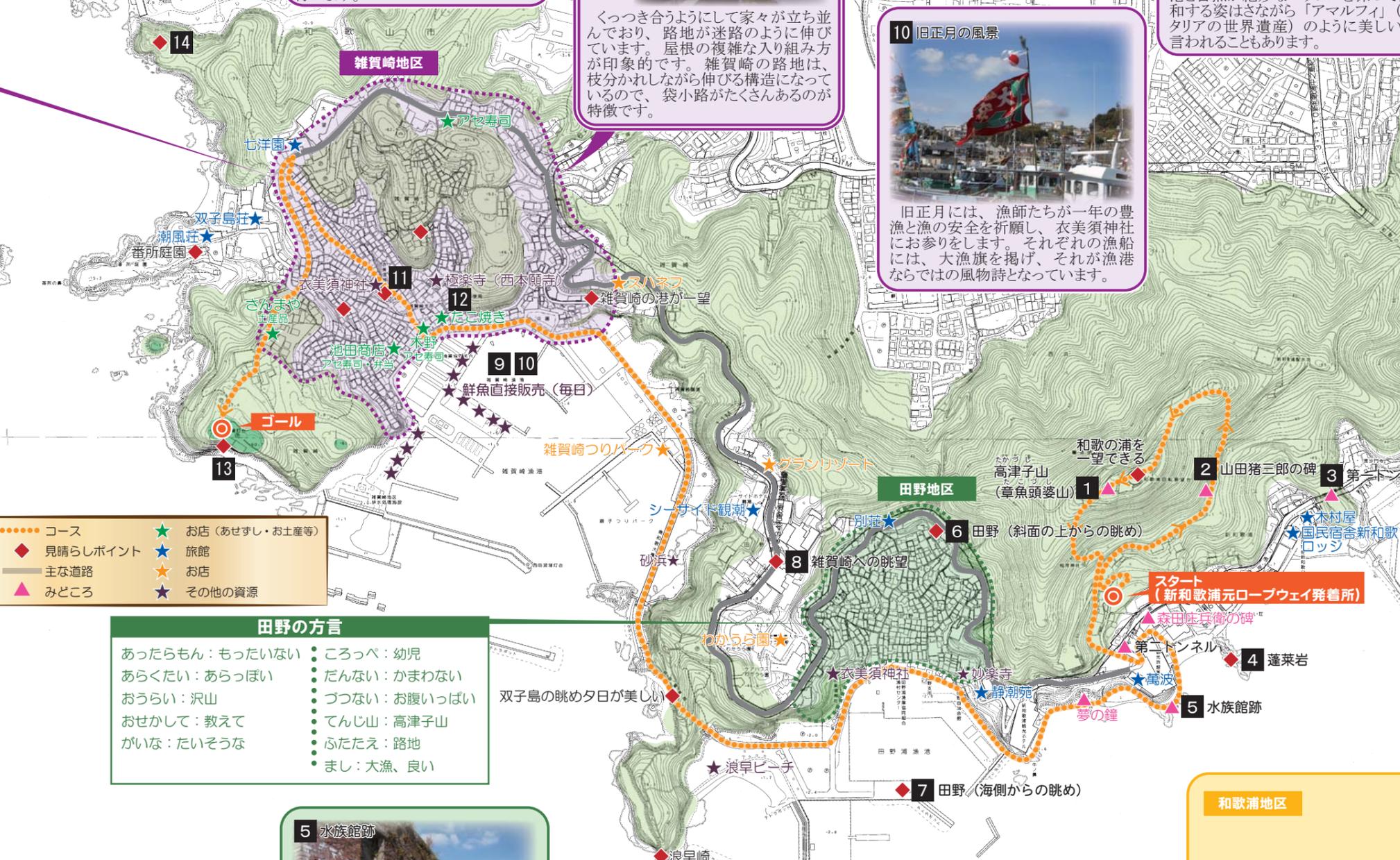


和歌山県の出身の、日本の飛行船開発のパイオニアです(1863年～1913年)。1910年9月8日に国産飛行船、山田式1号飛行船で自由飛行に成功しました。

3 第一トンネル



事業家森田庄兵衛(1862年～1924年)によってつくられたトンネルです。和歌山県出身で、明治40年ごろに和歌の浦に移り住んできました。風光明媚なこの土地に魅了され、近辺の山林を買い取って、トンネルや道路整備を行い観光開発を進めました。また住民のための水道の整備なども行いました。顕彰碑が建てられています。



●●●● コース	★ お店 (あせすし・お土産等)
◆ 見晴らしポイント	★ 旅館
— 主な道路	★ お店
▲ みどころ	★ その他の資源

田野の方言

- |              |             |
|--------------|-------------|
| あたらもん：もったいない | ころっぺ：幼児     |
| あらきたい：あらっほい  | だんない：かまわない  |
| おうらい：沢山      | づつない：お腹いっぱい |
| おせかして：教えて    | てんじ山：高津子山   |
| がいな：たいそうな    | ふたたえ：路地     |
|              | まし：大漁、良い    |

5 水族館跡



かつて水族館があり、今は青石の石積みとレンガの壁に面影を見ることができます。新和歌浦一帯は、昭和35年から平成9年まで運行した新和歌浦ロープウェイや、山頂には回転展望台もあるなど、明治時代から大正時代にかけて観光地として整備が進みました。

4 蓬菜岩



長い年月の中で、独特の岩の形が生み出されました。新和歌浦の観光名所となっています。

和歌浦地区



15 おとっとと広場



2012年11月にオープンした、県内の水産物が購入できる拠点です。和歌浦湾の「わかしらす」など、新鮮な水産物を購入することができます。開館は、土日祝日の10:00～14:00です。

和歌浦でよく言われた言葉

あかのあかまつぎ、いころよ  
(和歌浦の赤松座に、行こうよ)

※かつて赤松座という映画館が和歌浦にあり、若者の間ではそこに行くのが流行となっていた。